

## JICA 中南米日系社会との連携調査団

# 広島県企業が JICA ブラジル調査団へ参团

ブラジルは世界有数の経済規模を有する一方、所得格差が世界で最も大きい国の一つです。また、広大な国土や世界最大のアマゾン熱帯雨林をはじめとする雄大な自然、鉱物・エネルギー等多種多様かつ豊富な天然資源、穀物・肉類をはじめ世界有数の農業生産を誇り、環境・気候変動、資源・エネルギー、食料安全保障といった地球規模課題に大きな影響を与えうる存在です。日本とブラジルの関係において、戦前・戦後に移住した日本人を中心に日系社会が築かれており、ブラジルに在住する約 191 万人の日系人の存在は重要な役割を果たしています。現在、ブラジルの日系人は、政治や経済界に大きく関わり、医療、法律、教育等、多方面で活躍しており、このような日系人によるブラジルが抱える課題への貢献が、日本及び日本人への高い信頼感、親近感へと繋がっています。



JICA は ODA と民間ビジネス活動の連携を推進する中、移住先国で活躍する日系人をパートナーとして日本の民間企業と連携を促進することで、現地の開発課題の解決に貢献し、さらに中南米への事業展開を実現するといった互恵的な協力の可能性があると考え、全国の中小企業を対象にブラジル調査団への参加募集を行いました。

その結果全国から 27 社 28 名の応募があり、中国地方からは超臨界装置・高温高圧装置の設計から製作を行っている株式会社東洋高圧（広島県広島市）が採択された 11 社のうちの 1 社として選ばれました。広島県は戦前・戦後を通じた海外への移民数が全国 1 位であり、日本人移住者及びその子弟によって築かれた日系社会との連携を図ることで新たな市場の開拓が期待されます。

株式会社東洋高圧の調査団への意気込み、そして日系社会への思いなど同社のブラジルでの事業展開についてぜひ取材・報道をご検討ください。

なお、「日系社会民間連携セミナー」（JICA 中国主催、於広島市内、8 月末予定）を開催予定であり、同社から調査の報告及び今後の展望についても講演予定です。

■ 調査団日程：2017 年 7 月 21 日（金）～8 月 6 日（日）

■ 訪問地：サンパウロ州、パラナ州、ミナスジェライス州、リオグランデ・ド・スル州

以上

### 【本件に関する問い合わせ・申し込み先】

JICA 中国 総務課 担当:新庄  
 TEL:082-421-6300 FAX:082-420-8082  
 E-mail: Shinjo.Kanae@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ  
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

